

先天性感染症を予防しましょう

子宮内の胎児は病原体から守られた環境で過ごしています。しかし、妊婦さんがある病原体に初めて感染した場合はおなかの赤ちゃんにも感染することがあります。これを先天性感染症と呼び、トキソプラズマ、サイトメガロウイルス（CMV）、風疹などが代表的です。大人の女性で免疫を持たない人の割合は、トキソプラズマ、CMV、風疹でそれぞれ約 90、40、10%で徐々に増えており、注意が必要です。

トキソプラズマは温血動物に感染し猫が最終宿主なので、食肉の数%、猫の便や土壌・砂場等に存在します。CMV は 300 から 1000 出生に 1 名と先天性感染症で最多です。子どもの約半数は乳幼児期に CMV に感染し、3 歳くらいまでは CMV は尿や唾液（よだれ）に多く排泄されます。上のお子さんが集団生活等で CMV に初めて感染した頃に次のお子さんを妊娠するとママさんの感染のリスクが高くなります。風疹は最近小さな流行を繰り返しています。現在 39 から 56 歳の男性は風疹ワクチンの定期接種がなかったため抵抗力を持つ人が少なく、感染したパパから妊婦さんへ感染する心配があります。

先天性感染症では、脳・目・心臓などに病気が起こり、その多くには根本的な治療がありません。そこで、妊娠適齢期の女性とそこそご家族は予防のために以下を心がけていただくことが大切です。

1. こんなときには手を洗いましょう

子どもと遊んだ後、よだれや血液に触れた後、尿や便を片付けた後、調理や食事の前、土に触れた後、猫の排泄物を片付けた後は、石鹸と流水で 15 秒かけて手を洗いましょう。

2. よだれに注意しましょう

子どもが口にしたスプーンや食器、歯ブラシやおもちゃなどは口にしないでください。口へのキス、食べ物の口移し、食べ残しを食べることはやめましょう。

3. しっかり加熱したものを食べましょう

ローストビーフ、レアステーキ、生肉、生ハム、無加熱の「ナチュラルチーズ」、無殺菌のミルクは避けましょう。生肉の調理に使った包丁やまな板などの調理器具は洗い流してから野菜などの調理に使いましょう。

4. 必要なワクチンを受けましょう

昭和 37 から 53 年度出生の男性は風疹の抗体検査を無料で受けられ、免疫がなければ原則無料で風疹ワクチンを受けることができます（令和 3 年度まで）。

詳しいことは患者会である「トーチの会」や厚生労働省の HP に詳しく書かれていますので、ぜひご覧ください。

【小児科診療部長 大木 康史】

